

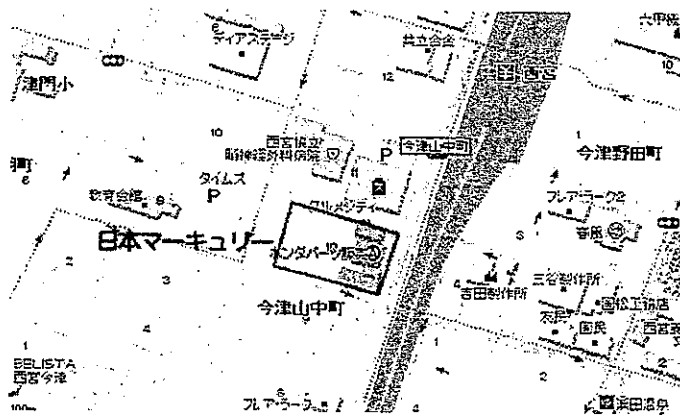
今津にあったメジャーレーベル・マーキュリーレコード

西宮芦屋研究所

1. マーキュリーレコード年代記

<戦前>

- 1924年（大正13年）内外蓄音器商会を今津上野町に設立
- 1930年（昭和5年）太平蓄音器として株式会社化
- 1933年（昭和8年）今津山中町に新工場建設
- 1941年（昭和16年）森光子のデビュー作『白衣の勇士を送る歌』が検閲で発禁処分になる
- 1942年（昭和17年）国家総動員法下の企業統合政策
キングレコードの親会社・大日本雄辯會（後の講談社）に強制的に買収。キングレコード西宮工場となる。



西宮流 ブLOGGER今津っ子さん 提供資料

<戦後> 隆盛期

- 1949年（昭和24年）キング尾久工場火災で西宮工場が主力となる。
- 1950年（昭和25年）講談社が物品税を滞納、国税局が差押え。
公売、石井廣治ら大日本蓄音器時代の有志が買戻し。
- 1951年（昭和26年）タイヘイ音響に社名変更し、新譜制作を再開。
- 1952年（昭和27年）アメリカのマーキュリー・レコードと独占契約。
ジャズの洋楽盤が人気沸騰 「テネシー・ワルツ」大ヒット
- 1953年（昭和28年）社名を日本マーキュリー株式会社と改称
東海林太郎、瀬川伸（瀬川瑛子の父）、岡晴夫、田端義夫、平野愛子などのベテランに加え、藤島桓夫、野村雪子、松山恵子、西田佐智子（後の佐知子）など新人歌手の活躍により隆盛を極める。奥村チヨも童謡歌手として出入り

<戦後> 凋落期

- 1955年（昭和30年）レコード市場での競争が拡大。野村雪子をビクターが引き抜き。
- 1957年（昭和32年）マーキュリー・レコードの発売権がキングレコードへ。日本マーキュリーの看板が有名無実化
- 1958年（昭和33年）新興の東芝レコードにより藤島桓夫、松山恵子ら看板歌手を引き抜き、専属の作詞家・作曲家やスタッフも集団で競業他社に移籍し、致命的打撃。
- 1960年（昭和35年）休業状態に陥り、旧盤の著作権の一部はマーキュリー・レコード本社に移る。生産設備の半分は吉本興業の手に渡り、プレスプレス専業ヤンマー音響として再出発
- 1980年（昭和55年）土地空け渡しのため廃業 56年の歴史に幕

2. マーキュリーのあんな歌こんな歌

☆森光子の幻のデビュー作 『白衣の勇士を送る歌』

☆パティ・ペイジ 『テネシーワルツ』



☆遠藤実 作曲 藤島桓夫 歌 『お月さん今晚は』

星幸男⇒遠藤実（本名）へ改名後、第1作が大ヒット

☆歌 丘京子 作詞：作曲：武政英策 『南国土佐を後にして』

ペギー葉山の大ヒットより、4年前にレコーディングされていた

☆歌 松島トモ子 作詞：宮崎博史・作曲：富田勲

カネテツ「てっちゃんの歌」コマーシャルソングの名曲

「てっちゃん」は、今年で還暦（60歳）